

令和 3 年度

事 業 報 告

常総市社会福祉協議会

令和3年度 事業 報 告

今、私たちが暮らす地域では、少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、また地域で支えあう力の低下などにより、福祉や生活に係る課題が多様化、複雑化してきています。また、新型コロナウイルスは、私たちの日常生活を大きく変え、「ふつうであること」「ふだんの暮らし」「社会的つながり」などすべてのことが今までにない試練に直面しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業状態により収入が減少し生活が困窮する世帯の増加や、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻さなども増しています。一方で、こうした状況は誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを知り、つながりを途切れさせない活動の重要性を改めて実感いたしました。

このような中、本会では行政や関係機関、ボランティア団体などと連携を図り、これまで培ってきたネットワークを活かし、第4次地域福祉活動計画の2年目として実践活動が後退しないよう努めてきました。しかしコロナ禍の中での活動が計画通りできなかったことは否めません。

今後も、第4次地域福祉活動計画に基づき、またコロナ禍により生活困窮に陥った方々への支援策を講じ、住民それが支えあいや助けあい、そしてつながりづくりの強化を図り困難な状況を乗り越えていきたいと考えております。

令和3年度は、次のとおり事業を実施いたしました。

基本目標1 支えあい・助けあいの地域づくり

～住民がともに「支えあい」「助けあう」地域づくりを推進します。～

○地域の支えあい・助けあいの関係が、さらに深まるよう住民主体の福祉活動を推進します。

社協支部活動支援

(1) 支部活動支援

各支部が住民主体の福祉活動に取り組めるように、それぞれの活動状況に合わせ、情報提供や相談支援を行った。

27支部 各支部では、新型コロナウイルス感染症の予防対策をとりながら、電話による高齢者の健康状態確認や屋外でのスポーツ活動等を実施した。

(2) 支部運営助成金の交付

支部活動の充実強化を図るため支部運営助成金を交付した。

27支部 2,115,300円

社協支部推進体制強化

(1) 支部長会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での開催とし、助成事業の説明、社協会員会費の協力依頼を行った。

令和3年5月20日

(2) 支部研修会、情報交換会

先進地域の取り組みや地域福祉活動の動向についての知識を深めるための研修会や各支部の取り組みや課題などについての情報交換会の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

地域福祉座談会

地域課題や福祉活動について、地域住民が気軽に話し合える機会をつくるための座談会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

○住民参加により、地域の福祉課題解決のための取り組みを推進します。

在宅福祉サービスせいむ

(1) 事業概要

家事や身の回りのお世話、子育てのお手伝いなど、日常で「こんな援助があれば助かる（利用会員）」と「誰かのお役に立ちたい（協力会員）」を結ぶ、会員制のたすけあい活動を実施した。

会員数	協力会員	26人	新規登録3人
	利用会員	117人	
利用回数	700回		
利用時間数	945.5時間		

(2) 協力会員養成 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

お食事会

地域ボランティアの協力で70歳以上のひとり暮らしの方などを対象にした食事を11地区12会場で毎月1回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止し、ボランティアによる参加者宅の訪問活動を行った。

また、豊岡地区、菅生地区、石下地区、岡田地区の4地区では、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、短時間のお茶飲み会を開催した。

【訪問活動】

実施地区	8地区
訪問件数	337件
協力ボランティア数	202人

【お茶飲み会】

実施地区	4地区
実施回数	19回
延べ参加人数	232人

実施状況一覧

地区	ボランティア 団体	訪問活動		お茶飲み会		
		件数	ボランティア 人数	会場	回数	人数
水海道	ボナペティ・ ひまわり					
豊岡	なごみ			豊岡公民館	4回	29人
菅原・大花羽	かんな	38件	40人			
三妻	みつま	9件	21人			
大生・五箇	さくら会	13件	23人			
坂手	やまゆり	20件	22人			
内守谷	陽だまり	50件	38人			
菅生	しらとり会			菅生公民館	8回	104人
石下	コスモス	96件	20人	石下文化センター	1回	15人
玉	まんまる玉	56件	17人			
岡田	つくし	55件	21人	篠山農村集落センター	6回	84人
計		337件	202人		19回	232人

ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

地域の中の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、元気づくり活動を推進するために、立ち上げや運営に必要な資金の一部を助成し、地域の交流の場づくりを実施した。

助成団体 21団体※新型コロナウイルス感染症予防のため、2団体が活動を中止。
中止した団体は助成金返還となった。

交流会 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

ほほえみネットワーク事業

見守りが必要な方とその方を支える住民同士のつながりづくりを支援するため、ネットワーク表を作成し、管理・更新を行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、外出や人と話す機会の減少が目立ったため、訪問するほかに電話での状況確認も実施した。

利用件数 33件

生活支援体制整備事業

石下中学校区と石下西中学校区に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者宅への訪問や電話などで生活や介護などの困りごとを伺い、解決に向けた支援を行った。

また、社協支部や市、関係各所と情報交換、連携し、いざという時のためのネットワークづくりを行った。

高齢者世帯訪問数		石下中学校区	石下西中学校区
世帯区分	ひとり暮らし世帯	109件	154件
	高齢者のみ世帯	13件	10件
	高齢者とその他世帯	11件	28件
合計		133件	192件

高齢者生きがい支援事業

(1) ペタンク・輪投げ大会

※新型コロナ感染症予防のため中止

(2) 第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

※新型コロナ感染症予防のため中止

(3) 高齢者新春芸能大会

常総市シルバークラブ連絡協議会と共に、カラオケや舞踊などの芸能発表を行う。※新型コロナ感染症予防のため中止

(4) 高齢者訪問

高齢者（88歳到達者349人）宅を訪問し、記念品を贈り長寿をお祝いした。

また、百歳到達者24人、最高齢者1人を訪問し、祝い金を贈呈した。

(5) レクリエーション用具貸出

貸出用具 輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク、オーバルボール等

貸出回数 3回

○福祉情報を収集し、分かりやすい情報発信を行います。

福祉情報広報啓発事業

(1) 広報紙「ふくしJOSO」発行

地域の福祉情報や社協からのお知らせなどを掲載した広報紙を作成し、市内全世帯に配布した。

年4回発行（6月、9月、12月、3月）

(2) ホームページ・SNS運営

ホームページとフェイスブックを運営し、最新の情報発信に努めた。

声の広報発行事業

ボランティアの協力により市広報及び市お知らせ版を音訳し、利用を希望する視覚障がい者に録音したCD等を送付した。また、チラシを作成して市・社協へ設置し、利用者の普及促進に努めた。

利用者数 11名

発行物（発行回数） 市広報・市お知らせ版（12回）、ふくしJOSO（4回）

発行数 294枚

協力ボランティア数 14名

○自分のまちを、自分たちで支える活動を充実させていきます

社協会員会費募集事業

(1) 一般会員会費 全世帯加入を目標に会員募集を行った。

加入数 14, 485世帯

（特別会員数2,728世帯、普通会員数11,757世帯）

会費金額 8,517,550円

(2) 法人特別会員会費

加入数 47社

会費金額 455,000円

赤い羽根共同募金運動への協力

茨城県共同募金会常総市共同募金委員会事務局として、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金運動を実施した。

令和3年度共同募金総額 11,796,879円

運営委員会

第1回 令和3年9月14日 運営委員及び監事の選任、副会長の選任、
令和2年度事業報告、決算報告

第2回 令和4年3月25日 令和3年度補正予算、令和4年度事業計画、
収入支出予算、運営委員及び監事の選任

基本目標2 想いを尊重した生活支援

～一人ひとりの困りごとを受け止め、自分らしい生活を支援します。～

○住民一人ひとりが抱える様々な困りごとを受け止める相談体制を整備し、関係機関等と連携し課題解決に向けて取り組みを行います。

心配ごと相談事業

(1) 心配ごと相談 随時職員が対応

(2) 法律相談 弁護士による相談を実施

毎月第4火曜日 午後1時～午後4時

相談件数 49件

高齢者総合相談窓口

・高齢者を対象に生活面での困りごとなどの相談に応じた。

相談件数 22件

○多様な生活課題を抱える住民に対し、福祉サービス・制度の利用を通じて、その人の将来を見据えた自立した生活を支援します。

日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など、判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスなどを行い、在宅での日常生活を支援した。

生活支援員 11人

相談件数 4,267件

令和3年度新規契約件数 5件

令和4年3月末の契約件数 50件

(2) 研修等

・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会 令和3年11月11日

・日常生活自立支援事業専門員会議、研修及び生活支援員研修 令和4年2月8日

・成年後見制度利用促進に関する担当者研修会 令和4年3月10日

貸付・食糧支援事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者のいる世帯、介護を必要とする高齢者のいる世帯の生活向上のため貸付、世帯更生指導を行った。

貸付件数	3件
貸付金額	651,000円
償還金額	360,681円
累計（令和4年3月31日現在）	
貸付中件数	34件
貸付残高	11,877,698円

(2) 緊急小口資金等の特例貸付制度

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で一時的な生活資金にお困りの方に向けた緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施した。

貸付件数	568件
貸付金額	167,860,000円
償還金額	1,550,000円
累計（令和4年3月31日現在）	
貸付中件数	1,841件
貸付残高	521,420,000円

(3) 小口貸付事業

低所得者を対象に短期無利子の貸付（限度額5万円）を行った。

貸付件数	13件
貸付金額	480,000円
償還金額	773,000円
累計（令和4年3月31日現在）	
貸付中件数	5件
貸付残高	215,000円

(4) 緊急食糧等提供事業

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ食料等の生活に必要な現物を提供することにより、世帯の自立を促し、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう支援した。

支援件数 103件（主な提供物資…缶詰、米、レトルト食品等）

※提供物資について

株式会社カスミと協定を結び、市内の店舗から月2回食糧物資の提供をいただいた。（令和3年度：米37.4kg、その他42.2kg）

また、社協（石下事務所）にNPO法人フードバンク茨城の「きずなB

OX」を設置し、食料品の寄付を受付した。(令和3年度：寄付582kg、一部を緊急食糧等提供事業で活用)

家計改善支援事業

常総市の生活困窮者自立相談支援事業と連携しながら、家計状況の課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付の斡旋等を行い、早期の生活再生を支援した。

新規相談件数 74件 ※うち申込件数 4件

継続相談件数 337件

相談取扱件数 411件

予約型乗合交通「ふれあい号」

- (1) 運行開始日 平成21年10月26日
(2) 運行区域 市内全域（車両5台で運行）
(3) 利用対象者 常総市内に居住する方
(4) 運行時間 午前8時から午後5時（1時間毎に運行）
(5) 利用料 一人1回250円（利用券使用）
(6) 予約センター オペレーター5人が2交代制（午前、午後）で受付、配車
(7) 利用状況

（単位：日、人）

月	登録人数 (累計)	利用人数	年代別			運行日数	1日平均 利用人数
			0～29	30～59	60～		
4月	8,692	1,232	15	58	1,158	21	59
5月	8,709	1,014	12	30	972	18	56
6月	8,723	1,211	18	66	1,127	22	55
7月	8,742	1,178	21	60	1,097	20	59
8月	8,753	1,070	29	74	967	19	56
9月	8,772	1,072	27	66	979	20	54
10月	8,783	1,139	8	89	1,042	21	54
11月	8,793	1,136	5	54	1,077	20	57
12月	8,817	1,240	13	83	1,144	20	62
1月	8,833	1,022	15	52	955	19	54
2月	8,856	1,000	10	75	915	18	56
3月	8,866	1,163	6	89	1,068	22	53
計	8,866	13,477	179	796	12,501	240	56

歳末援護事業

歳末たすけあい見舞金の支給

市民からの善意の募金を、民生児童委員を通じて見舞金として支給した。

見舞金支給件数 118世帯

支給合計額 1,430,000円

福祉機器の貸出

車いすを一時的に必要としている方へ無料で貸し出し、外出や介護のサポートを行った。 貸出件数 63件

○地域で暮らす障がいのある方に対して、施設サービスの提供と包括的な相談支援を行うことで、地域生活の継続を支援していきます。

常総市心身障害者福祉センター管理運営

障がいのある方に軽作業を通じ生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識・能力の向上を図った。

開設日 233日 利用登録人数 25名

(1) 就労継続支援B型事業

工賃の取組み

- ・部品の袋詰めや箱折り、ハンガーの組み立て、カーテンレール部品組み立て、防災ラジオの箱折りや部材入れ。
- ・リサイクル（空き缶、ペットボトル、古紙等）回収。
- ・自主製品として「EMぼかし」「手芸品」の販売や野菜の生産販売。
- ・オリジナルマグカップ、オリジナル缶バッヂの製作販売。

平均工賃（1人月額）12,586円

就労への取組み

- ・一般企業と連携し施設外就労を行ない、利用者の就労への意欲を高めた。
- ・一般企業への就労体験の実施。
- ・つくばライフサポートセンター（LSC）障害者就業・生活支援センターと協力して就労支援に向けて調整を図り、利用者3名が一般就労した。

(単位：回・人)

種 別		実施回数	延利用人数
作業訓練		233	4,773
生活活動支援		22	410
機能回復訓練	言語訓練	0	0
	リハビリテーション	12	37
給食サービス			4,615

(2) 広報、PR活動

- ・ふくし祭りに参加し、事業所紹介や作品を展示するなどPRを行った。

(3) 関係団体の育成

障がい者団体の活動支援（事務局）を行ったが新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を自粛した。

- ・身体障がい者福祉協議会（総会（書面開催）、役員会、研修交流会）
- ・手をつなぐ育成会（総会（書面開催）、役員会）
- ・聴覚障害者の会（総会（書面開催））

(4) その他

利用者が作業しやすい環境整備

- ・トイレに手すりを設置
- ・女子トイレを和式から洋式に交換
- ・室内照明をLEDに交換

送迎時の安全確保

- ・送迎用車両にドライブレコーダーを設置

常総市児童デイサービスセンター管理運営

発達に心配のある子が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応できるよう心身の状態や環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

特別支援学校及び特別支援学級に通う中学生、高校生などを対象に放課後や長期休暇時に個別指導や就労支援事業所への実習体験等を行った。ほか各機関との連携を強化し、利用者に対し統一的な支援を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策では検温、消毒の実施、マスク着用の義務化、衝立、空気清浄機の設置をした。自粛期間中は教材提供及び相談援助等の代替サービスの提供を行い、自宅でも継続して療育を行えるよう支援した。

(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス

開設日 241日

① 利用者の登録状況

(単位：人)

	人数
未就学児(0歳～6歳)	90
就学児(7歳～18歳)	53
合 計	143

②提供サービス別利用状況

(単位：回、人)

療 育 プログラム名	合 計	
	実施回数	利用人数
個別指導	984	984
言語指導	114	491
ポーテージ	午前グループ	37
集団指導	午後グループ	20
		131
理学療法	12	46
作業療法	12	52
ポーテージ発達相談	20	73
年長児小集団	63	314
年中児小集団	17	81
宿題サポート（長期休暇含）	37	145
実習体験	0	0
代替サービス	166	166
合 計	1,465	2,684

③月別実績人数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
210	218	245	227	220	238	216	227	227	217	209	230	2,684

(2) 連携事業

保健センター、教育委員会、保育所、幼稚園、小中学校、特別支援学校、医療機関など各関係機関と連携を図った。

(単位：回)

連携先（内容）	回数
保育所、幼稚園、学校（訪問、見学会）	19
教育委員会（就学説明会、就学面談）	22

その他

- ・教育補助員研修・教育委員会教育支援委員会
- ・保健センター発達相談同席
- ・基幹相談支援センター主催常総市事業所連絡会
- ・保護者交流会（新型コロナウイルス感染症対策のため情報交換ノートで実施）
- ・保護者勉強会
- ・保健センター5歳児健康診断補助（新型コロナウイルス感染症対策にて未実施）

(3) その他

利用者が訓練しやすい環境整備

- ・トレーニングルームや個別室などの照明機器の一部をLEDに交換
- ・男子トイレの壁タイル補修

障がい者相談支援センター運営

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」の指定事業所として、障がいを持つ人やその家族の相談に応じ、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成及び情報提供やサービスの調整を行った。

また、常総市より障害支援区分認定調査の業務委託を受け調査を行った。

利用契約数 令和4年3月31日現在

特定相談支援 52人（うち令和3年度新規 6名）

障害児相談支援 134人（うち令和元年度新規 22名）

（1）基本的な相談支援（契約者以外の相談）

面接相談： 0件

電話相談： 3件

（2）サービス等利用計画・障害児支援利用計画の月別作成数

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	2	7	3	3	1	7	5	8	4	3	3	3	49
障害児相談支援	7	14	11	9	12	10	15	13	12	17	13	15	148

※途中で計画が変更になる場合は1人に対して複数回作成する。

（3）モニタリング（利用計画が適切かどうかの見直し）の月別作成

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	10	5	2	4	5	4	3	6	4	4	13	6	66
障害児相談支援	27	16	28	27	27	14	16	20	17	19	16	18	245

※請求できるモニタリングのみ、計画前のモニタリングは含まず。

（4）障害支援区分認定調査実施件数

認定調査 98件

（5）その他

- ・計画相談支援事業所連絡協議会へ出席 2回（4/26、11/26）
- ・事例検討会へ参加 3回（5/12、7/16、1/14）
- ・虐待に関する訪問・会議 2件（市役所こども課と連携）
- ・現任者専門研修参加 2名
- ・各種研修会に参加（1/27、2/3、3/3、3/7 リモート研修）

基幹相談支援センター運営（令和2年4月開設）

市内在住の障がいをお持ちの方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、本人・家族・サービス事業所の方等からの各種相談や情報提供などの支援を行った。

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

- ・障害の種別に関係なく、個人や事業所に対して各種相談や情報提供を実施

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	24	32	23	26	28	25	32	20	18	33	28	315

※相談者内訳（実人数）
〔個人〕 49人
〔事業所〕 5人

※市役所 社会福祉課での相談支援業務を実施
週3日（火曜・水曜・金曜）9:00～16:00

(2) 相談支援体制の取り組み

- ・相談支援専門員の資質向上のための研修会の開催

相談支援事業所連絡協議会 2回（5/31、11/26）

事例検討会 3回（5/21、7/16、1/28）

- ・福祉サービス事業所連絡会の開催

障害児通所支援事業所連絡会 1回（4/26）

- ・福祉サービス事業所への訪問 15事業所

- ・特別支援学校への訪問 2校

(3) ひきこもり相談・啓発

- ・茨城県ひきこもり相談支援センターへの訪問

・ひきこもり相談の件数 6人（上記相談者実人数に含む）

(4) 地域移行・地域定着の取り組み

- ・精神科病院への訪問 3か所

○子どもたちの心と体を育む活動を地域ぐるみで推進していきます

三坂児童館管理運営

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。令和3年度は、8月17日から9月30日まで緊急事態宣言に応じた臨時休館、また感染防止対策のため、開館していても行事を行えない期間が約2か月間あり（2月、3月）、集団での活動や地域交流の場を設けることが困難だった。

開設日数 211日 延利用人数 2,860人

実施事業

- ・おもちゃの広場（毎週火、木、金曜日）
- ・子育てサロン（幼児クラブ、ニコニコ広場）
- ・シルバーリハビリ体操教室（月2回※新型コロナウイルス感染予防のため休会。）

季節のご挨拶カードを会員と講師に郵送した。)

- ・手作りおもちゃの会「ぬい＊ぬい」（毎月第1・第3木曜日）
- ・エコ活動（エコ工作教室、ペットボトルキャップ回収）
- ・リサイクルふくるベース（子供服・用品リサイクル事業）
- ・小学生対象工作教室、お楽しみ会を開催
- ・児童の居場所づくり月替わりプログラムを実施（毎月クラフト、なんでも選手権）
- ・地域のボランティアへ協力を呼びかけ（読み聞かせ、行事等講師）
- ・相談業務（子育てに関する相談）相談件数48件、定例相談日開設（毎月第2水曜日）
- ・機関紙「スマイル通信」発行 月1回程度
- ・どんぐりマーケットを開催（11月～12月、どんぐり工場は8月～12月）
- ・どんぐりマーケットの商品制作ボランティア「どんぐり工房」
(毎月第2、第4木曜日)

その他（環境整備）

- ・おもちゃ類の除菌ボックス購入、設置
- ・大型看板の交換、縦型看板の設置

水海道児童センター管理運営

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。令和3年度は8月17日から9月30日まで緊急事態宣言に応じた臨時休館、また感染防止のため、開館していても行事を行えない期間が約2か月あり（2月、3月）、集団での活動や地域交流の場を設けることが困難だった。

開設日数 211日 延利用人数 5, 224人

実施事業

- ・おもちゃの広場（毎週月～金、第2・4土曜日）
延べ利用者数：大人1, 273人、幼児1, 556人
- ・子育てサロン（幼児教室アイアイ、ぴ～ちっち、ぴ～ちサロン）
- ・シルバーリハビリ体操（月2回 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止）
- ・地域のボランティアへ協力を呼び掛け（読み聞かせ、リサイクル品仕分け、行事手伝いなど）
- ・いいもの★み～つけ（子供服・用品リサイクル事業）（毎週月・水・金、第2・4土曜日）延べ利用者数 942人
- ・小学生対象行事 工作、運動遊び、子供ボランティア（児童公園清掃）などを開催
- ・相談業務（子育てに関する相談）相談件数87件、定例相談日開設（毎月第4木曜日）
- ・機関紙「いちにの さあ～ん」発行 年6回
- ・こども版発行 年4回

その他（環境整備）

- ・おもちゃ類の除菌ボックス購入、設置
- ・図書室のエアコン設置
- ・フェンスの修繕

基本目標3 地域活動のつながりづくり

～地域に根ざした活動を応援し、つながりの輪を広げます。～

○ボランティア活動者・団体が楽しくやりがいをもって活動できるように、活動や運営の支援を行います。

ボランティア・市民活動支援

(1) ボランティア相談、紹介、登録

相談件数 7件

登録数 58団体、個人7人

(2) 情報発信

ホームページで登録団体、イベント、お知らせなど最新情報を提供
センターだより「DOME-MO」発行（偶数月10日発行）

(3) その他の支援

ボランティア室貸出 134回

ボランティア活動に対する保険加入案内

保険加入者 901人

行事用保険加入件数 11件

各種助成金情報の案内

赤い羽根地域づくり応援助成事業

市民が自主的に行う高齢者介護予防、生きがいづくり、障がい者支援、防災など地域福祉活動を応援するため、助成事業を実施した。

審査委員会の開催 7月15日、12月16日、3月15日

助成交付団体 34団体

助成金額 1,683,000円

※新型コロナウィルス感染症流行の影響により、活動を中止または縮小した団体は助成金返還。

常総ボランティア連絡協議会事務局

常総ボランティア連絡協議会支援

登録ボランティアのネットワークづくり、自主運営の支援を行った。

登録数 25団体

会員数 522人

情報発信 会報「たんぽぽ」発行（1回）

常総市シルバークラブ連絡協議会事務局

(1) 常総市シルバークラブ連絡協議会の育成

高齢者の中核組織であるシルバークラブ活動の充実強化に努めた。

登録数 40 クラブ

(2) 委員会活動の育成、援助

寿学級運営委員会、健康推進委員会

(3) 趣味・教養活動の推進

(単位：人)

講座・教室名	開催時期	開催場所	参加人数
第1回講演会	10月21日	地域交流センター	83人
わくわく美術展 (作品受付窓口として対応)	2月26日～ 3月3日	県民文化センター	8人

学校消毒ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動を希望する市内小中学校において、ボランティアの協力により校内の消毒作業を実施した。(令和2年11月開始)

ボランティア登録者 75名

活動場所 市内6校(大生小、五箇小、豊岡小、菅原小、大花羽小、石下小)

活動回数 延244回

活動人数 延760名

○地域の福祉活動に興味を持つきっかけとなるような福祉教育を行うとともに、地域を支える福祉人材の育成を推進します。

ボランティア講座

講座名	実施日	開催場所	参加者数
初級点字養成講座	7月27日～12月15日(全10回) ※新型コロナウイルス感染症予防のため5回の開催	社協水海道事務所	延15名
福祉出前講座	7月7日 3月1日	大花羽小学校(5年生) 飯沼小学校(4年生)	11名 36名

次の講座については、開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

- ・要約筆記1日体験講座
- ・朗読ボランティアフォローアップ講座

○ボランティア活動者・団体、福祉施設などの交流・協力・連携を進めることで、地域福祉活動のつながりの輪を広げていきます。

ボランティア市民活動団体交流事業

(1) ふくし祭り展示コンテスト

新型コロナウイルス感染症予防のため、例年の福祉啓発イベントの開催は行わず、福祉施設、ボランティア団体などと協働し、展示コンテスト形式での開催を実施した。

開催日 令和3年12月7日～12月10日（WEB上でも同時開催）

開催場所 常総市役所本庁舎「市民ホール」

参加団体 17団体（作品展示9団体、HP参加11団体※重複参加あり）

(2) ボランティア・市民活動団体支援

市内各種団体などと交流事業、連携・協働事業を行った。

（単位：人）

事業名	連携・協働団体	実施日又は期間	参加人数
お食事会	ボランティアサークル12団体	通年	延113
声の広報発行	音訳ボランティア	通年(24回)	14

災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定の締結

令和4年3月17日、災害時における災害ボランティアセンターの設置及びボランティア活動を円滑に実施するため、常総市との役割や協力事項等を定め、被災者の生活支援に寄与することを目的に協定を締結した。

理事会・評議員会等の開催

(1) 理事会

- 第1回 開催日 令和3年5月25日
報告事項 寄付金受領報告、顕彰該当者報告
協議事項 令和2年度事業報告、令和2年度一般会計決算、理事及び監事の推薦、評議員選任・解任委員会の招集、評議員の推薦、評議員会の開催
- 第2回 開催日 令和3年6月22日開催
報告事項 評議員選任・解任委員会報告
協議事項 会長及び副会長の選任、評議員選任・解任委員会委員の選任、職員の給与等に関する規程の一部改正
- 第3回 開催日 令和3年12月15日開催
報告事項 会長の職務執行状況の報告
協議事項 障害者虐待防止に関する規程の制定、職員の給与等に関する規程の一部改正、職員自己啓発助成金交付規程の一部改正、常総市心身障害者福祉センター及び常総市児童デイサービスセンター勤務職員の手当等に関する規程の一部改正、災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の締結、評議員選任・解任委員会の招集、評議員の推薦
- 第4回 開催日 令和4年3月18日開催
報告事項 評議員選任・解任委員会報告
協議事項 災害復興支援基金の廃止、災害支援基金の制定、規程管理規程の制定、職員の給与等に関する規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、令和3年度一般会計収入支出補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度一般会計収入支出予算、評議員会の開催

(2) 評議員会

- 第1回 開催日 令和3年6月17日
報告事項 顕彰該当者報告、寄付金受領報告、評議員選任・解任委員会報告
協議事項 令和2年度事業報告、令和2年度一般会計決算、理事及び監事の推薦
- 第2回 開催日 令和4年3月25日
報告事項 評議員選任・解任委員会報告
協議事項 令和3年度一般会計収入支出補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度一般会計収入支出予算

(3) 評議員選任・解任委員会

- 第1回 開催日 令和3年6月9日
協議事項 委員会趣旨説明、評議員選任
- 第2回 開催日 令和3年12月23日
協議事項 委員会趣旨説明、評議員選任

(4) 正副会長会議

- 第1回 開催日 令和3年8月20日
協議事項 社協の現状と検討事項の共有
- 第2回 開催日 令和4年2月3日
協議事項 社協の現状と検討事項の共有

(5) 監事会

- 第1回 開催日 令和3年5月18日
協議事項 令和2年度一般会計監査
令和2年度茨城県共同募金会常総市共同募金会委員会会計監査
- 第2回 開催日 令和3年11月19日
協議事項 令和3年度一般会計（4月～9月）監査

